

# 令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【下落合小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「情報の扱い方に関する事項」の正答率が低い。 <指導上の課題> 従来の「教師主導」「教え込み」型の授業から「児童が学びを獲得する授業」へと、必要に応じて授業の形態を柔軟に変えられるようにする。	⇒ 主体的に取り組み、自ら獲得した力としての知識・技能を高める授業を展開する。自分の考えを整理・表現するための思考ツール等を積極的に活用し、情報を整理したり、関連付けられたりできるようにする。【通年・1単元1回以上】 様々な体験活動を通して、リアルな体験から知識・技能を身に付けられるよう工夫する。【通年・1単元1回以上】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 「物語を読んで心に残ったところその理由をまとめて書く」問題で無回答が目立った。 <指導上の課題> 個に応じた指導を充実させていく必要がある。児童主体の学習活動の機会が十分に確保できていない。	⇒ ICTの活用や「じ・し・ゃ・く」を意識した授業展開を、発達段階に応じながら推進し、表現力(特にアウトプット)を育てる。【通年・1単元1回以上】 各教科において探究的な学びを設定したり、総合的な学習の時間を充実させたりするなど、児童が主体的に取り組む活動を充実させる。【通年・1単元1回以上】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月) 調査結果分析(7~8月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)
- ③分析共有(児童生徒の実態把握)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)